

宮住審第2号
令和2年9月25日

宇都宮市長 佐藤 栄一様

第40次宇都宮市住居表示等審議会
会長 篠崎 茂雄



町の名称（読み方）変更の実施について（答申）

令和2年7月30日付け、宮市第1112号で諮問のありました「徳次郎町の名称（読み方）を変更すること」について、慎重に審議を重ねてまいりました。

その結果、当審議会は、別紙のとおり答申します。

徳次郎町とくじろうまちの名称の変更に関する答申

令和2年9月

第40次宇都宮市住居表示等審議会

はじめに

諮問のあった徳次郎町^{とくじろうまち}は、昭和29年の宇都宮市と河内郡富屋村の合併に伴い、町の表記を「徳次郎町」、ふりがなを「とくじろうまち」と定められたところであるが、65年以上の長い年月を経た現在において、地元である富屋地区においては、地名の起源は奈良時代に遡るといふ「とくじら」という名称に強い愛着を持ち、継承し続けている。

今年4月に同地区の総意として、徳次郎町^{とくじろうまち}の読み方を「とくじらまち」へ変更することの要望書が市に提出され、本市初となる既存町名の読み方を変更することについて調査審議するため、当審議会が設置されたところである。

7月から2回にわたり、当審議会において徳次郎町^{とくじろうまち}の名称の変更について、歴史や文化的背景、市民生活や関係行政機関等の様々な専門的な見地から真摯な審議を行ってきたところであり、その結果をここに答申する。

本答申が、富屋地区まちづくりの推進に寄与し、さらには宇都宮市の発展につながることを願っている。

令和2年9月

第40次宇都宮市住居表示等審議会

会長 篠崎茂雄

1 徳次郎町の名称を変更することについて

「徳次郎町（とくじろうまち）」の名称について、「徳次郎町（とくじらまち）」へ変更することに異議はありません。

2 理由

- (1) 「とくじら」の名称の起源は奈良時代に遡るといわれ、歴史的・文化的な背景を有し、地元である富屋地区に留まらず、宇都宮市内外において広く定着し、愛着ある地名として継承されている。

- (2) 徳次郎町（とくじろうまち）の名称について、地域が古くから長く親しんできた「とくじらまち」へ変更することは、富屋地区全体の強い要望であるとともに、地域の子どもたちの郷土愛を育成し、富屋地区のまちづくり、さらには宇都宮市の発展につながるものである。

第40次宇都宮市住居表示等審議会委員

会 長	篠 崎 茂 雄
副会長	豊 田 豊
	安 野 光 宣
委 員	池 田 貞 夫
	柿 沼 賢
	木 村 由美子
	杉 山 豊
	滝 田 政 男
	舘 野 常 利
	外 鯨 泰 子
	仲 田 正 和

(副会長・委員 五十音順)